

機能形態素-ing を含んだ 外来語の形態・用法の特徴 ——「～する」動詞化の可否をめぐって——

ビタン・マダリナ

キーワード：外来語, 「～する」の付加, 動詞化

要 旨

日本語において英語の動詞が借用される際、非派生形（辞書形）と派生形の「～ing」形（gerund/verbal noun）の両形が借用される。両形は日本語では名詞として借用される。その後、日本語化の過程で「～する」を付加することにより、動詞として使われるようになる。本論文では、原語（英語）と比較し、意味や品詞性の観点から動詞の辞書形と「～ing」形の関係とそれらの語形と「～する」付加という現象に関する制約・規則を提案する。結論としては、英語由来の外来語において、名詞性の強いものと動詞性の強いものがあり、名詞性の強い語は動詞化しにくいのに対し、動詞性の強い語は動詞化しやすい。そして、日本語母語話者において「～ing」形は動詞らしく、行為、活動などの意味を持つ印象が強いと思われ、従って、日本語は英語からの借用語に「～ing」接尾辞を結合し、新しい語を作り出す。このことから、日本語において「～ing」接尾辞は生産性があると思われる。

1. はじめに

日本語は借用が多い言語であり、現在の借用語は主に英語由来のものである。Daulton は、日本語において英語の動詞が借用される際、非派生形（以下「辞書形」と派生形（以下「～ing」形）（gerund/verbal noun）の両形が借用されると述べている（Daulton 2008:20）。動詞が借用される際には、その動詞の非派生形（辞書形）のみが借用される場合（(1a)）と、派生形の「～ing」形のみが借用される場合（(1b)）とがある。加えて、動詞の非派生形（辞書形）と派生形の「～ing」形（gerund/verbal noun）の両形が借用されることもある（(1c)）。

- (1) a. アレンジ(arrange) - ×(arranging)
 b. ×(train) - トレーニング (training)
 c. カット(cut) - カッティング(cutting)

英語由来の動詞の非派生形も「～ ing」派生形も、日本語に借用される際にはまず名詞として借用されるのが一般的である。その後、日本語化の過程で「～する」を付加することにより、動詞として使われるようになる。しかし、英語動詞由来の名詞はそのすべてが動詞化するわけではなく、行為、出来事、活動を表す名詞として機能する語もある。詳しく見ていくと、次のように分類される。まず、辞書形のみが借用される場合、「～する」を付加する語(コピー する > copy)もあれば、付加しない語(ドリンク > drink)もある。また、「～ ing」形のみが借用される場合も、「～する」を付加する語(シェービング する > shaving)もあれば、付加しない語(オフィシエーティング > officiating)もある。最後に、辞書形と「～ ing」形の両形が借用される場合には、次のような組み合わせがある((2))。第一に、辞書形にも「～ ing」形にも「～する」が付加されないもの((2a))。第二に、辞書形にも「～ ing」形にも「～する」を付加するもの((2b))。第三に、「～ ing」形にのみ「～する」を付加するもの((2c))。第四に、辞書形にのみ「～する」を付加するもの((2d))である。

- (2) a. コンディショニング > conditioning
 コンディション > condition
 b. プログラミング する > programming
 プログラム する > program
 c. ショッピング する > shopping
 ショップ > shop
 d. オープニング > opening
 オープン する > open

本論文では、品詞と意味の観点から辞書形と「～ ing」形との関係、及びその両者における「～する」付加の現象について考察する。具体的には、辞書形と「～ ing」形との関係、及びその両者における、外来語に「～する」を付加する際の制約や規則を見出すことを研究目的とする。そして、最後に日本語における英語「～ ing」

接尾辞の生産性と役割を指摘する。

2. 英語の「～ing」形について

借用の対象である接尾辞「～ing」で終わる語には、どのようなものがあるのか確認する。英語の語形成における「～ing」接尾辞には次の二つの役割がある。第一は文法的機能であり、屈折接辞として動詞に付加され、現在分詞(present participle) (例: He is going to school.)と動名詞(gerund) (例: the making of the film)を作り出すものである。第二は派生接辞として品詞を転換する機能であり、様々な品詞に付加して別の品詞を作り出すものである。具体的に言えば、名詞に付加する場合には不可算名詞(例: roofing (屋根ふき材料; 屋根ふき (工事)))を作り出し、動詞に付加する場合には動名詞(verbal noun)を作り出す機能がある。作り出された動名詞(verbal noun)はモノ名詞* (例: building (建物))と事象名詞* (例: Building a house is... (=家を建てることは...))に分けられる。

本研究の対象になる「～ing」形の語は、動名詞* (verbal noun)と動名詞(gerund)に対応するものである。英語において、verbal noun は特別な意味を持つため辞書に記載されるが、gerund は統語的な役割を果たすのみであるため辞書には記載されない。このため、verbal noun が日本語に借用されることは自然に予想される。

しかし、実際には verbal noun のみならず英語の辞書に記載されていない gerund も日本語に借用され、日本語の辞書に記載されている。

3. 先行研究

3.1. 「～する」の付加に関する先行研究

辞書形と「～ing」形の関係を扱った先行研究は見られないが、「～する」動詞に関しては影山(1993)の研究があり、外来語の「～する」動詞に関しては野中(2001, 2008)の研究がある。

3.1.1. 影山 (1993)

影山は主に和語と漢語を扱い、「～する」を付加したサ変動詞について統語的・意味的観点から研究を行っている。外来語については特別な言及をしていないが、漢語と共に用例として挙げられていることから、漢語と同じ振舞いをするという立場をとっていると思われる。

影山は動名詞 (verbal noun VN) という品詞を次のように定義している。影山は動名詞 (verbal noun VN) について、名詞として機能でき、「～する」の付加によって動詞としても機能できる、名詞と動詞の特徴を同時に持つものと定義している (影山 1993: 26-30)。

また、動名詞になれるものとしては動詞の名詞化によって生じたモノ名詞 (結果・産物を表すもの) と事象名詞があると述べている。(影山 1993: 187-192)

3.1.2. 野中 (2001)

野中は外来語を扱い、日本語化の過程において、「～する」付加によって動詞化した語を研究対象としている。

野中は、英語動詞、英語動名詞、英語名詞が「～する」の結合により日本語動詞化される時、日本語動名詞と似た形態や機能を持つが、使用範囲においては制限されていると述べる。その上で、影山 (1993) が提案した日本語動名詞の特徴を外来語に当てはめ、借用された語と日本語動名詞との共通性と制限を検討し、英語の動詞・動名詞は日本語の動名詞として借用されると結論を出している。

3.1.3. 野中 (2008)

この論文は、野中 (2001) の内容を発展させ、英語動詞借用語の日本語対応語として動詞、漢語を辞書より抽出し、それらの形態的・統合的特徴を比較して考察している。その結果、英語動詞借用語と日本語対応漢語との日本語動名詞性での共通性を観察し、あらためて、英語動詞借用語が日本語に動詞化する際、日本語動名詞として機能することを確認している。また、英語の品詞を調べたうえで、「～する」で「日本語語彙範疇化」される英語借用語は、英語においては動詞と考えられるものであると述べている。

野中 (2001, 2008) は「～する」付加が確認された借用語の用例を研究対象とする。それに対して、本論文では「～ing」形を中心に同じ動詞の非派生形と派生形の両形が日本語に借用された語を研究対象とし「～する」の付加の制限・規則を分析する。

4. コーパス調査

4.1. 調査方法

本研究では、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(以下「BCCWJ」)、及び検索

システム「ひまわり」を用い、コーパス調査を行った。

調査方法として、辞書形と「～ing」形のペアを抽出し、資料 1 を作成した。具体的には、まず『ひまわり』に「[^ア-ケー][ア-ケー]*[イキシチニヒミリギジデビビィ]ング[^ア-ケー]」という正規表現を入力して、検索をかけ、コーパスから「～ing」形の語を抽出した。次に、その「～ing」形のリストそれらから複合語、固有語、「リング」「キング」といった動詞と関係のない名詞を排除し、調査資料の「～ing」形のリストを作成した。そしてそれらに辞書形を対応させ、辞書形と「～ing」形のペアをもつ外来語のリストを作成した。リストにはペアの存在の有無に加え、「～する」の付加に関する情報も記載した。

4.2. 調査結果

コーパス調査から、辞書形と「～ing」形 202 ペアが得られた。その 202 ペアのうち、44 ペア (21.7%) は辞書形のみ、58 ペア (28.7%) は「～ing」形のみ、54 ペア (26.7%) は辞書形と「～ing」形の両形に「～する」が付加することが確認されている。したがって、202 ペアのうち「～する」が付加されるものは 156 ペア (77.2%) となる。

5. 品詞性と意味の観点から見た分析と考察

辞書形と「～ing」形のペアに対して「～する」が付加されるかどうかには、品詞性が関わっていると思われる。したがって、本研究では英語における品詞と日本語における品詞を調査した。まず、日本語における辞書形と「～ing」形の品詞を推定するために、「～する」が付加するか否かという観点からコーパスの用例を分析した。つまり、「～する」が付加した用例があれば名詞であると判断し、そうした用例がなければ名詞であると判断した。更に、名詞と判断したものについては、用例の文脈から意味を調べてモノ名詞とデキゴト名詞に分類した。

次に、英語における品詞を *The New Oxford Dictionary of English* を参考にして調査した。*The New Oxford Dictionary of English* に十分な情報が記載されていないと考えられた場合には、*Oxford Advanced Learner's Dictionary seventh edition* と *Oxford Dictionary of English second edition* を用いた。

辞書形と「～ing」形の 202 ペアに関する調査の結果を資料 1 にまとめ、それぞれのペアについて品詞と意味の観点から考察を行った。資料 1 の読み方は次の通りである。

W(word) : 英語の非派生形 (辞書形) ; W-ing (word-ing) : 英語の「～イング」派生形 (「～ ing」) ; 語 : 外来語の非派生形 ; 語 - イング : 外来語の「～イング」派生形 ; N* : モノ名詞 (具体的・抽象的な個物, 結果, 産物, 原因, 状態, などを表している名詞) ; VN* (verbal noun) : デキゴト名詞 (出来事, 行為, 活動, 方法を表している名詞) ; V : 動詞 (サ変) ; Adj : 英語の形容詞 ; 日本語の形容動詞 (ナ形容詞) ; Adv: 副詞 ; Prep: 前置詞 ; Conj: 接続辞 ;

英語では, どんな言葉でも名詞と動詞の両方の用法を持つと言われている (walk-to walk; cut-to cut など)。「転換」というプロセスを通じて, 名詞 (モノ名詞) から動詞を作り, 動詞から名詞 (モノ名詞・デキゴト名詞) が作られる。

英語の辞書において, 各語の品詞は最も一般的なものから順に記載されている。資料 1 の W 列と W-ing 列における品詞は辞書の記載順に示されているので, どの品詞が一般的であるかが分かるようになっている。例えば, 「N, V」という順番ならば名詞の意味の方が一般的であり, 逆に「V, N」という順番ならば動詞の意味の方が一般的である。この順番は, 単一の名詞にモノ名詞としての意味とデキゴト名詞としての意味がある場合, 名詞性と動詞性のいずれが強いかを判断する際に重要な情報となる。モノ名詞としての意味が先に記載されている場合は名詞性の方が強く, デキゴト名詞としての意味が先の場合, これは動詞性の方が強いと判断できるのである。

本論文では, 英語-日本語の対応における「W 列-語列」と「W-ing 一語-イング」の関係を詳しく見ながら, 辞書形と「～ ing」形の関係について検討を行う。

5.1. W列

資料 1W 列 (英語の非派生形) を見てみると, その品詞は大きく次のようにまとめられる (表 1)。

表1 W列の分類

英語の[-ing]形の品詞	語数
N, V	129
V, N	54
V, VN	3
V	16
合計	202

W 列には辞書形の英語の品詞がまとめてある。語数の多い順番としては、一番語数が多い「N, V」(モノ名詞, 動詞)グループで 129 語あり, 次に「V, N」(動詞, モノ名詞)グループで 54 語, 「V」(動詞)グループで 16 語, 「V, VN」(動詞, デキゴト名詞)グループで 3 語となる。さらに, 5.1.1.以降で W 列の各グループについて分析する。

5.1.1. 「N, V」グループ

英語の「N, V」グループの語が日本語に借用される場合, 借用された語の品詞の分類には次のようになる(表2)。「- >」は借用のプロセスをあらわしている。「- >」前には英語の品詞が記載され, 「- >」後には日本語の品詞が記載されている)

表2 「N, V」グループ

	語数	%
(a) N, V → N	87	67.4
(b) N, V → N, VN, V	36	27.9
(c) N, V → VN, V	5	3.9
(d) N, V → VN	1	0.8
合計	129	100.0

表2を見ると, 「N, V」グループの英語が日本語に借用される場合, 入力された英語の N(モノ名詞)の英語は日本語に N(モノ名詞)として出力される傾向がある((a)(b))。「N, V」グループの(a)(b)を合わせた 123 語(95.3%)がこのパターンである。一方, 「N, V」グループの(c)(d)の 6 語(4.7%)の場合は英語の N(モノ名詞)が借用されず, 日本語の辞書形が英語動詞の意味概念を持った VN(デキゴト名詞)であることが分かる((c)(d))((3))。

- (3) a. ドック
- b. トリップ
- c. パーク
- d. ドラフト

また、「N, V」グループの英語が日本語に借用される場合、動詞の意味が借用されず、モノ名詞の意味のみ、モノ名詞として日本語に借用される傾向がある(a) ((4))。

- (4) ガーデン

この場合、辞書形には「～する」の付加が起こらない。日本語において英語の動詞の意味を借用場合、英語に「～ing」形のデキゴト名詞(verbal noun)があれば、その「～ing」形が日本語に借用され、「～する」が付加する((5))。一方、英語に「～ing」形の動名詞(verbal noun)がない場合、その英語の動詞の文法的「～ing」形の動名詞(gerund)がデキゴト名詞として日本語に借用され、場合によって「～する」が付加する((6))。

- (5) アカウント
- (6) ペダル

さらに詳しく見ると、この「N, V」グループの(a)の語にはモノ名詞の具体的な個物(道具((7)), 場所((8))など)が多く、英語ではなく日本語を母語とする話者にも「名詞らしい」印象を与え、英語のモノ名詞を意味した語が日本語でもモノ名詞として借用される傾向がある。

- (7) スティック
- (8) ショップ

英語の動詞の意味も日本語に借用される場合、英語の「動詞らしい」行為、活動などの意味を持つ「～ing」形のデキゴト名詞(verbal noun)が借用される傾向が見られる。英語に「～ing」形のデキゴト名詞(verbal noun)がなければ、英語の動詞

の文法的「～ing」形(gerund)がVN(デキゴト名詞)として日本語に借用されることから、日本語母語話者が「～ing」形から「動詞らしい」印象をうけていることが確認できる。

さらに、「N, V」グループの(b)には、辞書形にも「～ing」形にも英語の動詞の意味が日本語に借用される用例が見られる。このとき、ほとんどの用例において辞書形のVN(デキゴト名詞)には「～する」が付加する。英語の動詞の意味が「～ing」形、辞書形両形にある36語のうち24語の辞書形のVN(デキゴト名詞)には、「～ing」形のVN(デキゴト名詞)にも「～する」が付加する((9))。

(9) サイクルする – サイクリングする

5.1.2. 「N, V」グループ

英語の「V, N」グループの語が日本語に借用される場合、借用された語の品詞の分類には次のようになる(表3)。

表3 「V, N」グループ

	語数	%
(a) V, N → N	7	13.0
(b) V, N → N, VN	1	1.8
(c) V, N → N, VN, V	12	22.2
(d) V, N → VN	2	3.7
(e) V, N → VN, V	32	59.3
合計	54	100.0

「V, N」グループの場合、基本的に英語のNはNとして、VはVNとして借用され、辞書形のVN(デキゴト名詞)に「～する」が付加する可能性がある。加えて、英語の「～ing」形のVN(デキゴト名詞)も借用され、これにも「～する」が付加する可能性がある。つまり、辞書形か「～ing」形どちらかの形あるいは両形に「～する」が付加できるのである。詳しく見ていくと、「V, N」グループの(b)((10)), (c)((11)), (d)((12)), (e)((13)))を合わせた47語(87.0%)の場合、語の動詞の意味がVNの辞書形として借用されている。この47語のうち、(b)と(c)を合わせた13語(24.0%)の場合は英語の名詞の意味も動詞の意味も借用され、一方で(d)と(e)を合わせた34語(63.0%)の場合は英語の動詞の意味のみ借用される。また、「V, N」

グループの(a)の7語((14))の場合、英語の名詞の意味のみ借用されている。

- (10) フロート
- (11) キャスト
- (12) ドロー
- (13) ズーム
- (14) ハンドル

英語の動詞の意味がVN(デキゴト名詞)の辞書形として借用される「V, N」グループの(b)～(e)を合わせた47語のうち、(c)と(e)を合わせた44語(93.6%)には「～する」が付加する。つまり、「V, N」グループの語の場合は動詞の意味が借用される傾向があり、「～する」を付加する傾向もあることが分かった。従って、「V, N」グループの語は日本語母語話者の感覚では「動詞らしい」語でできていると思われる。

辞書形の「語列」とそれに対応する「～ing」形の「語ーイング列」を合わせて検討すると、「V, N」グループ全体の54語のうち、31語(57%)において「～ing」形に「～する」が付加している。また、「V, N」グループで辞書形と「～ing」形の両形に「～する」が付加されているものは25語(46%)あることが分かった((15))。

- (15) スキャンする – スキャニングする

5.1.3. 「V, VN」グループ

英語の「V, VN」グループも、辞書形と「～ing」形のペアとして日本語に借用される。このグループに属するのは3語((16)～(18))のみであり、それらはすべてモノ名詞(N)としての品詞も意味もない外来語に属するのである。

- (16) クリーン
- (17) ダイブ
- (18) トーク

(16)「クリーン」は英語では「Adj, V, Adv, VN」として機能し、日本語には「Adj」の意味のみ借用されている。従って、「クリーン – クリーニング」は動詞の辞書形と「～ing」形のペアではない。一方、(17)と(18)は英語では「V, VN」であり、日

本語には動詞の意味を持った VN(デキゴト名詞)として借用され、「～する」を付加される。ペアの「～ing」形にも「～する」の付加が可能であり、(18)についてはコーパスから得た用例においてそれを確認している。

5.1.4. 「V」グループ

「V」グループの語は、英語では名詞と動詞の機能を持たず、動詞としてのみ機能している(表4)。

表4 「V」グループ

	語数	%
(a) V → N	1	6.2
(b) V → VN	4	25.0
(c) V → VN, V	11	68.8
合計	16	100.0

この「V」グループの語が日本語に借用される際、行為などを表すデキゴト名詞として借用されている((b)(c))。今回の調査では、辞書形が「～する」の付加により動詞化する 11 語(68.8%)((19)), 辞書形に「～する」付加の確認がされない 4 語(25.0%)((20))が確認できた。

(19) ディコード

(20) リマスター

また、「V」グループの(a)として、英語では動詞でありながらも日本語にモノ名詞として借用されている例外が 1 語みられた((21))。

(21) オフショア

しかし、この語の英語の品詞は「Adj, Adv, V」である。「offshore」は「沖の・沖で・沖に」と位置、方向を表すものであり、英語では形容詞および副詞として機能している。しかし、日本語では「上、下」など位置や方向を表している語が名詞として機能している。よって、「沖の、沖に」という意味を持った「オフショア」も日本語では「上、下」など位置や方向を表す名詞と同じグループのものであり、名

詞として機能している。すなわち、「オフショア＞ offshore」という語の場合、「V」グループの用例ではなく「N, V」グループの用例として扱わなければならないのである。したがって、辞書形には英語の動詞の意味が借用されず、「N, V」グループの用例と同様に、動詞の意味は「～ing」形として借用されている。

辞書形の「語列」とそれに対応する「～ing」形の「語—イング列」を合わせて検討すると、「V」グループの語の場合も他のグループと同様、「～ing」形のペアにも「～する」の付加が確認された((22))。

(22) リサイクルする – リサイクリングする

5.2. W-ing列

資料1の英語の「～ing」形の品詞を記載した「W-ing 列」を見てみると、その分類は大まかに次のようにまとめられる(表5)。

表5 W-ing 列の分類

英語の「～ing」形の品詞	語数
N	35
VN	54
N, VN	24
Adj	14
空白	74
Prep	1
合計	202

日本語の「～ing」形外来語のVN(デキゴト名詞)用法に対応する英語の品詞は、「N」(モノ名詞)が35語、「VN」(動詞, モノ名詞)が54語、「N, VN」(モノ名詞, デキゴト名詞)が24語、「Adj」(形容詞)が14語、「Prep」(前置詞)が1語、「空白」、つまり対応する英語がないものが74語である。各グループについて5.2.1. ～5.2.5.でさらに詳しく見ていく。

5.2.1. 「N」グループ

英語の「～ing」形のN(モノ名詞)が日本語に借用される場合、その品詞は以下のようにまとめられる(表6)。

表6 「N」グループ

	語数	%
(a) N → N	4	11.4
(b) N → VN	9	25.7
(c) N → VN, V	15	42.9
(d) N → N, VN, V	7	20.0
合計	35	100.0

英語の N (モノ名詞) の意味がそのまま日本語に借用されている用例は 4 語 (11.4%) 見られた。((23)) にその例を示す。N (モノ名詞) の意味とともに動詞の VN (デキゴト名詞) の意味も借用される用例 (d) は 7 語 (20.0%) である ((24))。この場合、ほとんどの用例に「～する」の付加が起こる。辞書形とそれに対応する「～ing」形をみると、「N」グループの (d) の 7 語中 5 語は「N, V → N, VN, V」というグループに入っている。従って、(d) 類の語では、「～ing」形と辞書形の両形に「～する」が付加されていることになる。残る (b) と (c) をあわせた 24 語 (68.6%) では、英語の「～ing」形の N (モノ名詞) の意味は借用されず、動詞の意味が VN (デキゴト名詞) として借用されている ((25))。英語の辞書には VN (verbal noun) (デキゴト名詞) にあたる「～ing」形がないため、英語の動詞の文法的な活用当たる動名詞形 (gerund) が借用語として日本語に入ってきたと思われる。

(23) スペーシング

(24) コーティング

(25) a. カバーリング

b. シーズニング

5.2.2. 「VN」グループ

W-ing 列の「VN」グループには次のようなものがある (表 7)。

表7 「VN」グループ

	語数	%
(a) VN → VN	23	42.6
(b) VN → VN, V	30	55.6
(c) VN → N, VN, V	1	1.8
合計	54	100.0

英語の品詞が VN（デキゴト名詞）である場合、ほとんどの語が VN（デキゴト名詞）として日本語に借用される。「VN」グループ全体の 54 語のうち、(b) と (c) を合わせた 31 語において「～する」の付加が確認された((26))。また英語では VN（デキゴト名詞）の意味しかないにもかかわらず、外来語として日本語に借用されると VN（デキゴト名詞）および N（モノ名詞）の用法も生まれるという珍しい用例((27))が、「VN」グループの(c)として 1 語だけ見られた。

(26) プログラミング

(27) クリーニング

(27)「クリーニング」が例外となる理由は次のようなことであろう。英語の clean には、「～ ing」形であれ辞書形であれ、N（モノ名詞）としての意味はない。ところが日本語の「～ ing」形には N（モノ名詞）としての意味がある。すなわち、日本語の「クリーニング」は「クリーニングをする店」という意味も持つ。言い換えると、「店」が省略された「クリーニング」そのものが、「クリーニング店」という名詞の意味を表している。

「VN」グループの W-ing 列とそれに対応する W 列の関係をみると、「VN」グループの 54 語のうち、38 語（70%）は W 列の「N, V」グループのものである((28))。このことから、名詞性の強い「N, V」グループの語が日本語に借用される際には、辞書形ではなく、VN（デキゴト名詞）の「～ ing」形として英語の動詞の意味を借用することが分かる。

(28) サンプル - サンプルング

5.2.3. 「V, VN」グループ

W-ing 列の「N, VN」グループの語を分析すると以下のものに分類できる（表 8）。

表8 「N, VN」グループ

	語数	%
(a) N, VN → N	1	4.2
(b) N, VN → N, VN	3	12.5
(c) N, VN → N, VN, V	3	12.5
(d) N, VN → VN	9	37.5
(e) N, VN → VN, V	8	33.3
合計	24	100.0

英語において N (モノ名詞) と VN (デキゴト名詞) という二つの品詞がある語の場合、英語の[～ ing]形が日本語に借用される際には、次の傾向があることが分かる。まず、VN (デキゴト名詞) が典型的な用法として借用されるケースが圧倒的に多い。(d)と(e)を合わせた 17 語 (70.8%) がこれにあたる((29))。次に、VN (デキゴト名詞) に加えて N (モノ名詞) の用法が借用されるケースも多い。これには(b)と(c)を合わせた 6 語 (25.0%) が該当する。一方で、N (モノ名詞) の用法だけが借用されるのはわずか 1 語(a)であった((30))。

(29) エンコーディング

(30) エンディング

W-ing 列の「N, VN」グループの場合も、英語の N (モノ名詞) の意味が日本語に借用されず、英語の動詞の意味を持った VN (デキゴト名詞) のみ借用され、「～する」の付加できるという傾向が見られた。

5.2.4. 「Adj」グループ

W-ing 列を見ると、英語の「～ ing」形には、動詞と名詞のみならず、形容詞(Adj)もあることが分かる (表 9)。

表9 「Adj」グループ

	語数	%
(a) Adj → Adj	4	28.6
(b) Adj → VN	3	21.4
(c) Adj → VN, V	6	42.9
(d) Adj → Adj, VN, V	1	7.1
合計	14	100.0

表9から、英語の形容詞が日本語に借用されるときには、次のようなものがあることが分かる。まず、英語において形容詞として機能する「～ing」形が日本語でも形容動詞として用いられる例(a)は4語見られた((31))。続いて、(d)のように、英語の形容詞の意味も形容動詞として借用され、英語の動詞の意味をもった gerund 形も借用されている例((32))も見られた。残った(b)と(c)を合わせた9語((33))の場合には、英語の形容詞の意味が借用されず、英語の動詞の意味をもった gerund 形が借用されている。

(31) エキサイティング

(32) ミスリーディング

(33) フリージング

従って、「Adj」グループの場合も、英語の「～ing」形にVN（デキゴト名詞 verbal noun）としての用法がなければ、gerund 形が英語の動詞の意味で日本語に借用される。

5.2.5. 「空白」グループ

W-ing 列には「空白」、つまり空いているセルが74箇所見られる。

表10 「空白」グループ

	語数	%
(a) 空白 → VN	34	45.9
(b) 空白 → VN, V	40	54.1
合計	74	100.0

表 10 の全 74 語は N (モノ名詞) および VN (デキゴト名詞 verbal noun) としての用法を持った「～ ing」形が英語のレキシコンに存在しない。このようなケースでは、英語のレキシコンでの記載を無視する形で gerund としての用法が日本語に借用され、動詞の意味を持った「～ ing」形が作られる。つまり、日本語の借用語の辞書形に英語の「～ ing」接尾辞が結合され、行為、出来事などを表している VN (デキゴト名詞) が作られ、その新しい語が日本語のレキシコンに登録される ((34))。また、この新しい「～ ing」形の語には「～する」の付加が可能であると思われる ((35))。

- (34) ドリリング
(35) スライディングする

「～ing」形の「動詞らしさ」と「生産性」の有無についてさらに確認するために、次の用例((36a-d))を見る。

- (36) a. ネイチャリング > nature+ing
b. パノラミング > panorama+ing
c. ダベリング > だべる（駄弁る）+ ing = 無駄なおしゃべりをする
こと
d. エギング > 餌木+ ing=イカを釣る釣法の一種

(36a), (36b)は、英語の「nature」「panorama」という N (モノ名詞) に行為などを表す VN (デキゴト名詞) を作り出す「～ ing」接尾辞を付加した和製英語の用例である。また、(36c)の場合、日本語の「だべる (駄弁る)」という動詞に「～ ing」接尾辞を付加した用例であり、(36d)の場合、日本語の「餌木」という名詞に「～ ing」接尾辞を付加した用例である。「～ ing」接尾辞を付加したことにより、英語で行為などを表す VN (デキゴト名詞/動名詞(*gerund*)) のようなニュアンスを持った言葉が作られており、「～ ing」形に「生産性」があることの証拠になると思われる。

6. 結論（全体のまとめ）

本論文では、辞書形・「～ing」形の語と「～する」の付加に関する規則・制約を見出すために、コーパス調査から抽出した用例を品詞や意味の観点から分析した。

この分析から、それらには語の動詞性が関わっていると推測し、外来語の原語（英語）における品詞および日本語における品詞を比較し、検討を行った。その結果、辞書形の英語の品詞は「N, V」グループと「V, N」グループの二つに分類できることが明らかになった。

「N, V」グループの語が借用される場合、英語の N(モノ名詞)は N(モノ名詞)の意味で日本語に借用される傾向があり、辞書形には「～する」の付加が起らない。英語の動詞の意味を日本語に借用したい場合、英語に「～ ing」形の VN(デキゴト名詞)があれば、その「～ ing」形が日本語に借用されて「～する」が付加する。一方、英語に「～ ing」形の VN(デキゴト名詞)がなければ、英語の動詞の文法的「～ ing」形(gerund)が VN(デキゴト名詞)として借用され、場合によって「～する」が付加される。

また、「V, N」グループの場合、おおよそ英語の N(モノ名詞)は N(モノ名詞)として日本語に借用され、動詞も VN(デキゴト名詞)として借用され、[-ing]形には「～する」が付加する可能性がある。加えて、英語の「～ ing」形の VN(デキゴト名詞)も借用され、日本語の「～ ing」形にも「～する」が付加する可能性がある。つまり、「～ ing」形か辞書形のどちらかの形あるいは両形に「～する」が付加する。結論として、「N, V」グループは名詞性が強いため、辞書形は動詞化しがたいのに対し、「V, N」グループは動詞性が強いため動詞化しやすいという傾向を表していると言える。

さらに、英語の「～ ing」形が記載されている W-ing 列に、「N」、「空白」、「Adj」、「Prep」と記載されている場合、英語には日本語の「～する」が付加するベースになる VN(デキゴト名詞)がない。対応する英語がないのは、英語のレキシコンにおいて「～ ing」形の語がないからである。すなわち、英語のレキシコンにおいて「～ ing」形の語がない場合、日本語の動詞の意味を持った「～ ing」形が作られるのである。このことから、動詞の辞書形を VN(デキゴト名詞)として借用するというより、日本語ではあえて「～ ing」形を作る傾向があると考えられる。このことから、日本語母語話者は「～ ing」形を動詞らしく捉え、行為、活動などの意味を持つ印象を強く受けるものと思われる。さらに、日本語は英語からの借用語に「～ ing」接尾辞を結合し、新しい語を作り出すということから、日本語において、「～ ing」接尾辞には生産性があることが分かる。

参考文献

- Daulton, Frank E. (2008) *Japan's built-in lexicon of English-based loanwords*, Clevedon, UK : Multilingual Matters
- Vitan, Madalina (2012) 「機能形態素-ing を含んだ外来語の形態・用法の特徴―「～する」動詞化の可否をめぐって―」筑波大学 修士論文
- 影山太郎 (1993) 『文法と語形成』 ひつじ書房
- 野中博雄 (2001) 「外来語の語彙範疇～英語動詞/動名詞の日本語語彙範疇化について～」『桐生短期大学紀要』12 巻, (pp. 141-149) 桐生短期大学
- 野中博雄 (2008) 「英語動詞の日本語語彙範疇化について―日本語対応語との比較―」『桐生短期大学紀要』19 巻, (pp. 31-43) 桐生短期大学

参考資料

- Hornby, A. S. (2005) *Oxford Advanced Learner's Dictionary 7th edition*, Oxford, Oxford University Press
- Hanks Patrick, Judy Pearsall (eds.) (1998) *The new Oxford dictionary of English*, Oxford : Clarendon Press
- Soanes, C. and Stevenson, A. (eds.) (2003) *Oxford Dictionary of English 2nd edition*, Oxford, Oxford University Press

コーパスデータ

国立国語研究所 BCCWJ 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』 「ひまわり」

機能形態素-ing を含んだ外来語の形態・用法の特徴（ピタン・マダリナ）

資料 1

	見出語	W	語	W-ing	語-イング	英語
1	アーミング	N, V	N		VN	arming
2	アイシング	N, V	N	N	VN, V	icing
3	アカウンティング	N, V	N	VN	VN	accounting
4	アンカリング	N, V	N		VN, V	anchoring
5	インデクシング	N, V	N		VN, V	indexing
6	インプリンティング	V, N	VN, V		VN	imprinting
7	ウェーピング	N, V	N		VN, V	waving
8	ウォーキング	V, N, VN	VN, V	VN, Adj	VN, V	walking
9	ウォッチング	V, N	N, VN, V		VN, V	watching
10	エキサイティング	V	VN, V	Adj	Adj	exciting
11	エンコーディング	V	VN, V	VN, N	VN	encoding
12	エンジニアリング	N, V	N	VN	VN, V	engineering
13	エンディング	N, V	N	N, VN	N	ending
14	オープニング	Adj, V, N	VN, V, Adj	N, VN, Adj	N, VN	opening
15	オフショアリング	Adj, Adv, V	N	VN	VN	offshoring
16	ガーデニング	N, V	N	VN	VN, V	gardening
17	ガイディング	N, V	N, VN, V	Adj	VN, V	guiding
18	カウンセリング	N, V	N	VN	VN, V	counseling
19	カウンティング	V, VN, N	VN, V	Prep	VN, V	counting
20	カッティング	V, N	N, VN, V	N, Adj	VN, V	cutting
21	カップリング	N, V	N	N, VN	VN, V	coupling
22	カバリング	V, N	N, VN, V	N	VN	covering
23	カラーリング	N, V	N, VN, V	N	N, VN, V	coloring
24	キャストイング	V, N	N, VN, V	VN, N	VN, V	casting
25	キャッシング	N, V	N		VN, V	cashing
26	キャッピング	N, V	N		VN	capping
27	キャンピング	N, V, Adj	N, VN, V	VN	VN	camping
28	キルティング	N, V	N	N, VN	N, VN, V	quilting
29	クラスタリング	N, V	N		VN	clustering
30	クラッキング	V, N, Adj	N, VN, V	N, Adj	VN, V	cracking
31	クリアリング	Adj, V, Adv	VN, V, Adj	N	VN	clearing
32	クリーニング	Adj, V, Adv, VN	Adj	VN	N, VN, V	cleaning
33	クルージング	N, V	N, VN, V		VN, V	cruising
34	グルーピング	N, V	N	N, VN	VN, V	grouping
35	グレイジング	V, N	N	VN, N	VN	glazing
36	クロージング	V, N	VN, V	Adj, VN	VN, V	closing
37	クローニング	N, V	N, VN, V	VN	VN, V	cloning
38	ケーシング	N, V	N	N	N	casing

	見出語	W	語	W-ing	語-イング	英語
39	ゲージング	N, V	N		VN	gauging
40	コーチング	N, V	N, VN, V	VN	VN, V	coaching
41	コーティング	N, V	N, VN, V	N	N, VN, V	coating
42	コーディング	N, V	N, VN, V	VN, N	VN, V	coding
43	コーナリング/ コーナリング	N, V	N		VN, V	cornering
44	コンサルティング	V	VN, V	Adj	VN, V	consulting
45	コンディショニング	N, V	N	N	VN	conditioning
46	サイクリング	N, V	N, VN, V	VN	VN, V	cycling
47	サイディング	N, V	N	N	N	siding
48	サンプリング	N, V	N	VN	VN, V	sampling
49	シークエンシング	N, V	N	N	N	sequencing
50	シーズニング	N, V	N	N	VN, V	seasoning
51	ジャンピング	V, N, VN	VN, V		VN	jumping
52	シューティング	V, N	VN, V	VN	VN	shooting
53	ショッピング	N, V	N	N, VN	VN, V	shopping
54	スイッチング	N, V	N, VN, V		VN, V	switching
55	ズーミング	V, N	VN, V		VN, V	zooming
56	スカウティング	N, V	N, VN, V	VN	VN, V	scouting
57	スキャニング	V, N, VN	VN, V		VN, V	scanning
58	スクーリング	N, V	N	N	VN	schooling
59	スクリーニング	N, V	N	VN	VN, V	screening
60	スケーティング	V, N	VN, V	VN	VN	skating
61	スケーリング	N, V	N		VN, V	scaling
62	スケジューリング	N, V	N		VN, V	scheduling
63	スタイリング	N, V	N	VN, N	N, VN, V	styling
64	スタンディング	V, N	N	Adj, N	VN, V	standing
65	スタンピング	N, VN, V	N, VN, V		VN	stamping
66	スティッキング	N, V	N		VN	sticking
67	ステンシリング	N, V	N		VN	stenciling
68	ストラクチャリング	N, V	N, VN, V		VN	structuring
69	ストレッチング	V, N, VN	VN, V		VN, V	stretching
70	スピニング	V, N	VN, V	VN	VN	spinning
71	スプライシング	V, N	VN, V		VN	splicing
72	スペーシング	N, V	N	N	N	spacing
73	スペリング	V, N	VN	N, VN	VN	spelling
74	スポンジング	N, V	N		VN	sponging
75	スライディング	V, N, VN	VN, V		VN, V	sliding

機能形態素-ing を含んだ外来語の形態・用法の特徴（ビタン・マダリナ）

	見出語	W	語	W-ing	語-イング	英語
76	スリリング	N, V	N	Adj	Adj	thrilling
77	スローイング	V, N, VN	VN, V		VN	throwing
78	スワッピング	V, VN, N	VN, V		VN, V	swapping
79	セービング	V, N, Prep, Conj	VN, V	N	VN	saving
80	セーリング	V, N	VN, V	VN	VN	sailing
81	セッティング	V, N, Adj	N, VN, V	N	N, VN, V	setting
82	センシング	N, V	N		VN, V	sensing
83	センターリング/ センタリング	N, V	N	VN, N	VN, V	centering
84	タイピング	N, V	N, VN, V	VN	VN, V	typing
85	ダイビング	V, VN	VN, V	VN	VN, V	diving
86	タイミング	N, V	N	N, VN	N, VN	timing
87	タッチング	V, N	VN, V	Adj	VN	touching
88	ダンシング	N, VN, V	N, VN, V	VN	VN	dancing
89	ダンピング	V, N, VN	VN, V	VN	VN, V	dumping
90	チェンジング	V, N, VN	VN, V		VN, V	changing
91	チャーミング	N, V	N	Adj	Adj	charming
92	チャネリング	N, V	N		VN, V	channeling
93	チャレンジング	N, VN, V	VN, V	Adj	Adj	challenging
94	チューニング	N, V	N	VN	VN, V	tuning
95	ディコーディング	V	VN, V		VN	decoding
96	ディフレクティング	V	VN, V		VN	deflecting
97	テーピング	N, V	N		VN, V	taping
98	デザイニング	N, VN, V	N, VN, V	Adj	VN	designing
99	テストイング	N, VN, V	N, VN, V		VN	testing
100	トーキング	V, VN	VN, V	Adj, VN	VN	talking
101	ドーピング	N, V	VN, V		VN, V	doping
102	ドッキング	N, V	N		VN, V	docking
103	トッピング	N, Adj, V	N, VN, V	N	N, VN, V	topping
104	ドライビング	V, N	VN, V	VN, Adj	VN	driving
105	ドラフティング	N, Adj, V	VN		VN	drafting
106	ドラミング	N, V	N	VN	VN, V	drumming
107	ドリーミング	N, V	N		VN	dreaming
108	トリッピング	N, V	N, VN, V		VN, V	tripping
109	トリミング	V, N, VN, Adj	N	N	VN, V	trimming
110	ドリリング	N, V	N		VN	drilling
111	トレーディング	VN, N, V	VN, V	VN	VN	trading
112	ドローイング	V, N, VN	VN	N	VN, V	drawing

	見出語	W	語	W-ing	語-イング	英語
113	ナンバリング	N, V	N		VN, V	numbering
114	ネーミング	N, V	N		VN, V	naming
115	ネットティング	N, Adj, V	N, VN, V	N	VN	netting
116	ノッキング	V, N	VN, V		VN, V	knocking
117	パーキング	N, V	VN, V	N, VN	VN	parking
118	バゲニング	N, V	N, VN, V	VN	VN	bargaining
119	パイピング	N, V	N	N, Adj	VN, V	piping
120	ハウジング	N, V	N	N	VN	housing
121	パッキング	V, N	N, VN, V	N, VN	N, VN, V	packing
122	パッケージング	N, V	N	N, VN	VN, V	packaging
123	バッティング	N, V	N		VN, V	batting
124	パドリング	N, V	N		VN	padding
125	パンチング	V, N	VN, V		VN	punching
126	ハンティング	V, N, VN	VN, V	VN	VN	hunting
127	ハンドリング	V, N	N		VN, V	handling
128	ビジョニング	N, V	N		VN	visioning
129	ピッキング	V, N, VN	N, VN, V		VN, V	picking
130	ピッチング	N, V	N		VN, V	pitching
131	ピットティング	V, N	N		VN	pitting
132	ファーミング	N, V	N	VN	VN	farming
133	ファイリング	N, V	N, VN, V	VN	VN, V	filing
134	ファクタリング	N, V	N		VN	factoring
135	ファシリテーティング	V	VN, V		VN	facilitating
136	フィーチャリング	N, V	N, VN, V		VN	featuring
137	フィキシング	V, N	VN, V	VN, N	VN	fixing
138	フィッティング	V, Adj, N	VN, V	Adj, N	VN	fitting
139	フィルタリング	N, V	N		VN, V	filtering
140	プーリング	N, V	N, VN, V		VN, V	pooling
141	フェーシング/ フェーディング	V	VN		VN	fading
142	フェンシング	N, V	N	VN	VN, V	fencing
143	フォーカシング	V, N, VN	N, VN, V		VN	focusing
144	プライシング	N, V	N	VN	VN	pricing
145	ブラッシング/ ブラッシング	N, V	N, VN, V		VN, V	brushing
146	プランニング/ プランニング	N, V	N, VN, V	VN	VN, V	planning
147	ブランディング	N, V	N	VN	VN, V	branding

	見出語	W	語	W-ing	語-イング	英語
148	フリージング	V, VN, N	VN, V	Adj	VN, V	freezing
149	ブリーチング	V, N	VN, V		VN	bleaching
150	フレイジング/ フレージング	N, V	N	N, VN	VN, V	phrasing
151	ブレーキング	N, V	N, VN, V		VN, V	braking
152	フレミング	N, V	N	N	VN, V	framing
153	ブレンディング	V, N	VN, V	VN	VN, V	blending
154	フローティング	V, N	N, VN	Adj	VN, V	floating
155	プログラミング/ プログラムミング	N, V	N, VN, V	VN	VN, V	programming
156	ブロッキング	N, V	N, VN, V	VN	VN	blocking
157	プロファイリング	N, V	N	VN	VN	profiling
158	ペインティング	N, V	N, VN, V	N, VN	N, VN	painting
159	ペダリング	N, V	N		VN	pedaling
160	ペッチング/ ペッチェング	N, V, Adj	N	VN	VN, V	petting
161	ヘディング	N, V	N	N	VN, V	heading
162	ポインティング	N, V	N, VN, V	N, VN	VN	pointing
163	ボウリング	N, V	N	VN	VN, V	bowling
164	ボーディング	N, V	N	N, VN	VN	boarding
165	ホーミング	N, Adj, Adv, V	N	Adj	VN, V	homing
166	ポジショニング	N, V	N		VN, V	positioning
167	ポスティング	N, V	N	VN, N	VN	posting
168	ボトリング	N, V	N		VN, V	bottling
169	ボンディング	N, V	N	VN	VN, V	bonding
170	ポンピング	N, V	N		VN, V	pumping
171	マーキング	V, N	N, VN, V	N	VN, V	marking
172	マーケッティング	N, V	N	VN	VN	marketing
173	マーチャンダイジング	N, V	N	VN	VN	merchandising
174	マウンティング	V, N	VN, V	Adj, N	VN, V	mounting
175	マスキング	N, V	N		VN	masking
176	マスタリング	N, V, Adj	N, VN, V	VN	VN, V	mastering
177	マッチング	N, V	N, VN, V	Adj	VN, V	matching
178	マッピング	N, V	N, VN, V	VN	VN, V	mapping
179	マネージング	V	VN, V	Adj	VN	managing
180	ミーティング	V, N	VN, V	N	N, VN, V	meeting
181	ミスリーディング	V	VN, V	Adj	VN, V, Adj	misleading
182	ミルキング	N, V	N	VN	VN	milking

	見出語	W	語	W-ing	語-イング	英語
183	メンタリング	N, V	N	VN	VN	mentoring
184	モデリング	N, V	N	VN	VN, V	modeling
185	モニタリング	N, V	N, VN, V		VN, V	monitoring
186	ライセンスング	V, N	N, VN, V		VN, V	licensing
187	ライティング	N, Adj, V, Adv	N	N	VN, V	lighting
188	ライディング	V, N	N	VN, N	VN	riding
189	ラッピング	V, N	N, VN, V	N	VN, V	wrapping
190	ラベリング	N, V	N	N	VN, V	labeling
191	ランキング	N, V, Adj	N, VN, V	N, Adj	N, VN, V	ranking
192	リーリング	N, V	N	VN	VN	reeling
193	リサイクルング	V	VN, V	VN	VN, V	recycling
194	リスケジューリング	V	VN	VN	VN	rescheduling
195	リセッティング	V	VN, V		VN	resetting
196	リバランシング	V	VN		VN	rebalancing
197	リフティング	V, N	N		VN, V	lifting
198	リマスタリング	V	VN		VN, V	remastering
199	レコーディング	N, V	N	VN	VN, V	recording
200	レタリング	N, V	N	N	N, VN, V	lettering
201	レベリング	N, Adj, V	N		VN	leveling
202	ローディング	N, V	VN, V	N	VN	loading

ビタン マダリナ／人文社会科学研究科

(2015 年 10 月 31 日 受理)